

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

610

認定子ども園等整備事業（補助）

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	2	子供が健やかに育つことのできる環境づくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	児童福祉費		
	目	児童保育費		
	大事業	児童保育事業（子育て支援課）		
中事業	認定子ども園等整備事業（補助）			

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市立認定子ども園整備計画		
事業年度	平成27年度 ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	子育て支援課	栩野照章	435-1329
事業実施の根拠法令	子ども・子育て関連3法	関連課	保育子ども園課		

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	保育園及び認定子ども園（以降を含む。）において、施設整備に要する費用の一部を助成することにより、保育環境の整備を図る。		社会福祉法人等が運営する保育園及び認定子ども園（移行を含む。）において、創設、待機児童の解消、老朽化の改善等を目的とした施設整備に要する費用の一部を助成することにより、保育環境の整備を図る。			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	私立保育所及び認定子ども園の施設整備及び病児保育施設整備に対する補助（山口保育園・名草幼稚園・のざき保育園・かんどり保育園・月山チャイルドケアクリニック）	私立保育所及び認定子ども園の施設整備に対する補助（東洋保育園・まつえ幼稚園・布施屋保育園）	社会福祉法人等が行う施設整備に対し、補助金を交付する。	私立保育所及び認定子ども園の施設整備に対する補助	私立保育所及び認定子ども園の施設整備に対する補助	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	674,048	827,980	412,366	335,445	0	0	0	0	0	0
伸び率（%）	32.4%	1%	△38.8%	△59.5%	△100%	△100%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	26,534	15,345	13,934	7,249	1,354	1,434	1,434	0	1,434
	正規職員以外	472	472	721	721	1,217	1,217	1,217	0	0
	小計	27,006	15,817	14,655	7,970	2,571	2,651	2,651	0	1,434
国庫支出金	561,708	681,066	341,882	276,953	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	3,226	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	106,000	134,400	68,900	57,200	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	6,340	9,288	1,584	1,292	0	0	0	0	0	0
所要人数 （人）	正規職員	3.32	1.92	1.73	0.90	0.17	0.18	0.18	0.00	0.18
	正規職員以外	0.19	0.19	0.29	0.29	0.38	0.38	0.38	0.00	0.00
主な予算内訳	令和2年度予算なし									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
補助申請施設数	園	目標値		4	3	0		
		実績値		4	3	0		
		達成度(%)		100%	100%	100%	%	%
整備完了施設数	園	目標値		4	3	0		
		実績値		4	3	0		
		達成度(%)		100%	100%	100%	%	%
成果指標		目標値						
		実績値						
		達成度(%)						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	老朽化した施設の建替え・改修等及び認定こども園への移行のための施設整備を自己資金のみで実施することが困難な保育所、認定こども園等が多いため、当該補助金を活用し保育環境の改善を図る。
見直し・改善内容	市内において待機児童が発生しており、保育施設の需要が高まっている。待機児童の解消を含む子育てを支援するため、保育所・認定こども園及び認定こども園に移行する幼稚園を対象に加え、施設整備を実施していく。